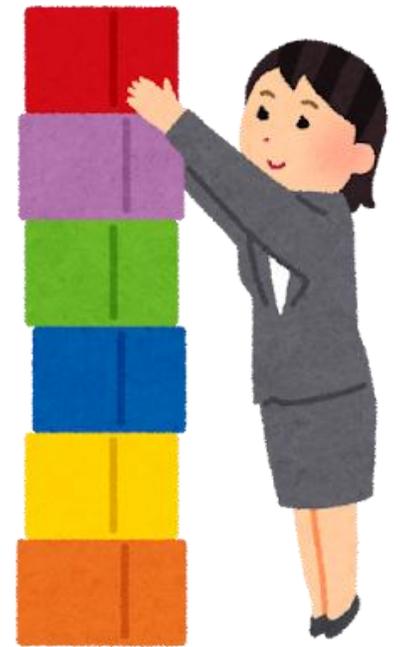


資産運用を考えてみよう！



ライフプランを実現するには資金が必要です

資金調達の方法には貯蓄と投資の2つの方法があります

・貯蓄とは

⇒ お金を蓄えること。元本は保証される

・投資とは

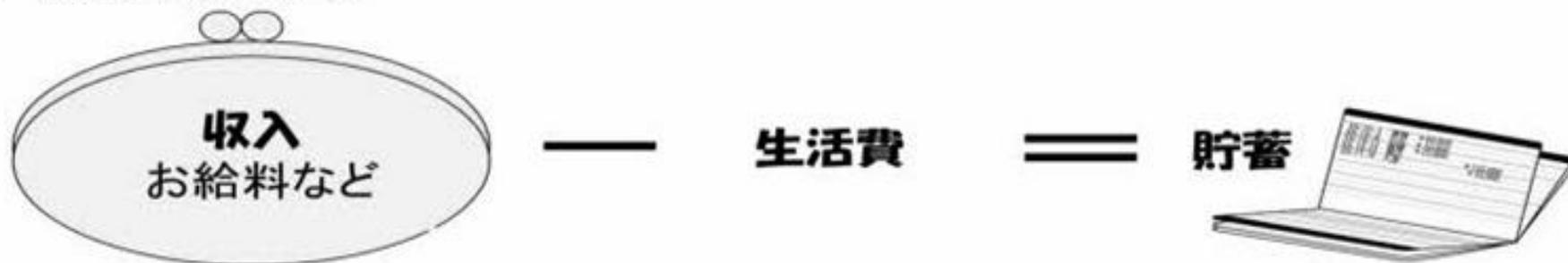
⇒ 利益を見込んでお金を出すこと。リスクがつきもの

1. 貯蓄

A まず貯蓄をして残りのお金で生活する



B 残ったら貯蓄する



○ 収入—将来のための貯蓄 = 生活費 (使えるお金)

× 収入—生活費 (使ったお金) = 貯蓄

積立貯蓄のポイント

確実にお金を貯めていくには、毎月・毎年計画的に積み立てていくことが重要

①給与天引きか口座引落としを利用すること

②貯蓄の目的・期間・金額を明確にすること



貯めやすい積立商品の紹介

| | | | |
|----------|---|------------------------|-----------------------------|
| 財形貯蓄 | 一般財形貯蓄 | 使う目的は問わない | 制度を導入している会社なら、給与天引きで積み立てられる |
| | 財形住宅貯蓄 | マイホームの新築・購入や、増改築を目的とする | |
| | 財形年金貯蓄 | 老後資金を目的とする | |
| 自動積立定期預金 | 主に銀行で扱っている預金商品で、毎月一定額を（☆）普通預金などから自動的に積み立てることができる定期預金のこと | | |

制度があれば、社内貯金も利用しましょう

☆普通預金（総合預金通帳）

給与、年金、配当金などの自動受取り口座として、公共料金、クレジット代金、ローンなどの自動支払い口座として利用できる



3つの基本

- 1, **長期** ⇒ 複利、時間を味方に
- 2, **積み立て** ⇒ 定額購入法が有利（ドル・コスト平均法）
- 3, **分散** ⇒ 「ひとつの籠に玉子を全部入れるな」
主な分散は3つ ⇒ 資産・地域・時間



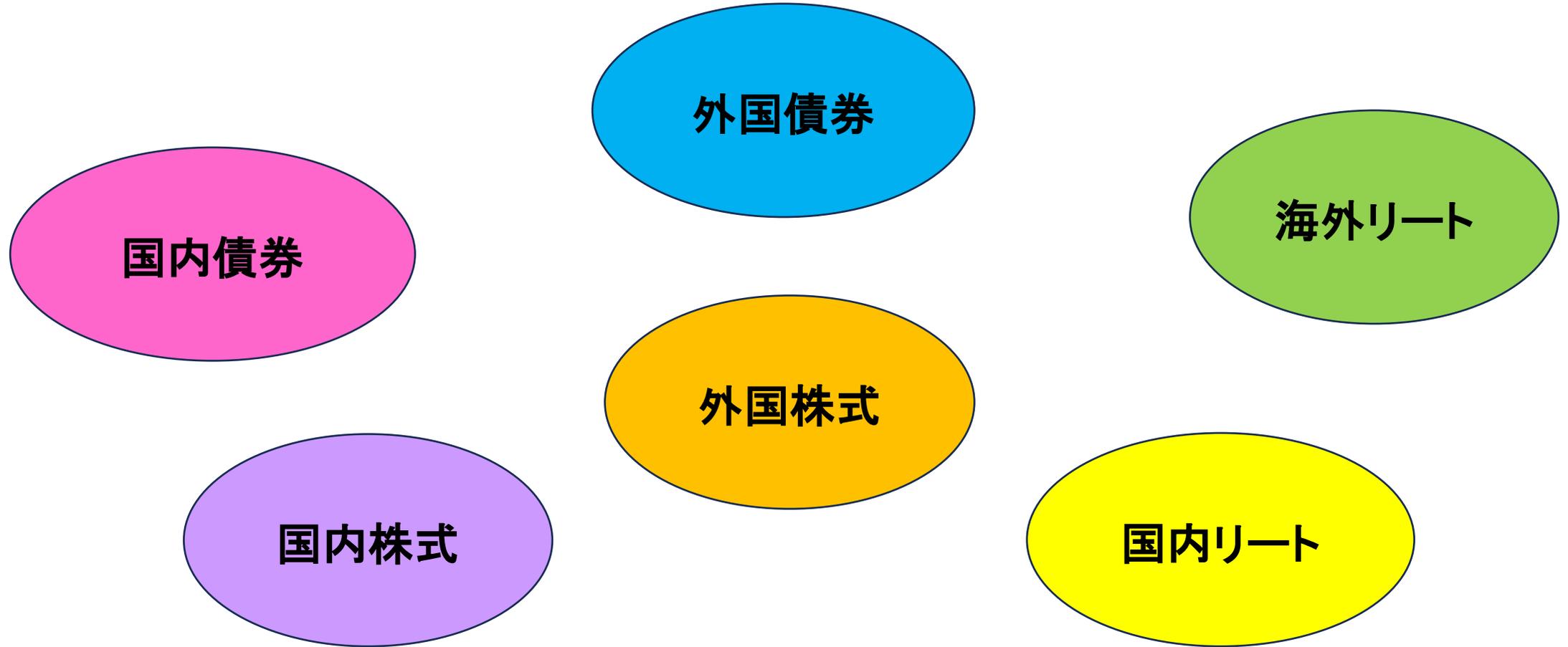
投資を始めるなら**資金と時間と心の余裕**が必要

手数料が必要

期日のない投資は、買う時より売る時の方が決断がいるかも

主な3つの分散 ①

① 資産(銘柄)の分散



主な3つの分散 ②

② 地域分散

¥



€

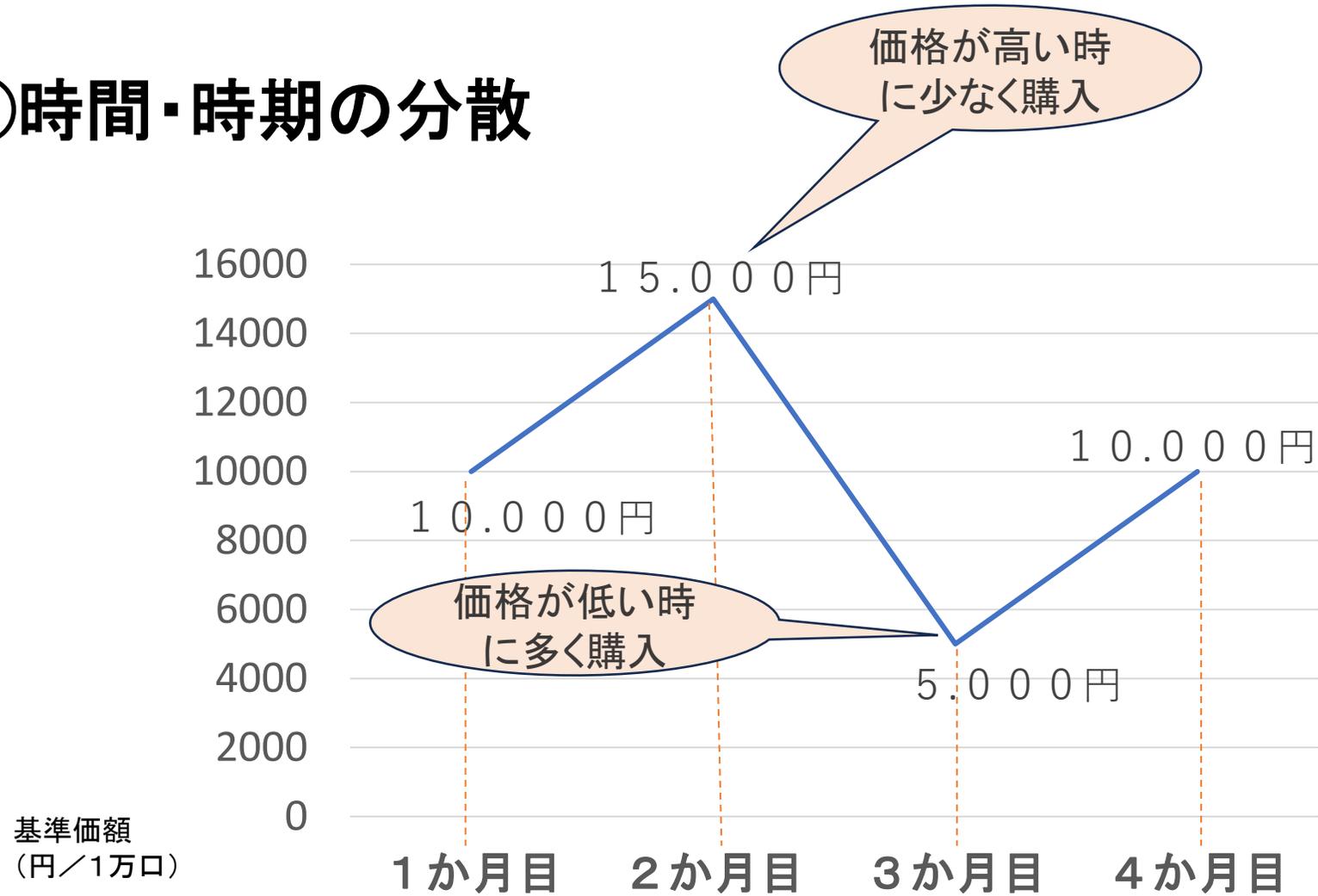


\$



主な3つの分散 ③

③時間・時期の分散



NISA と iDeCo の特徴

| | | つみたて投資枠 | 併用可 成長投資枠 | iDeCo |
|-----------------------|-----|---|-----------------------------------|--------------------------------|
| 制度対象者 | | 18歳以上 | 18歳以上 | 20歳以上65歳未満(国民年金に加入) |
| 主な商品 | | 株式投資信託(国が定めた厳しい条件をクリアした長期投資に適している投資信託が対象) ETF | 株式投資信託 株 ETF REIT | 投資信託 保険商品 定期預金など |
| 年間投資枠 非課税保有 限度額 | | 年間 120万円 1800 | 年間 240万円 万円 成長投資枠のみ1200万円まで | 年間24~81.6万円 * 職業等で拠出可能額が異なる |
| 払出し制限 | | 自由 | 自由 | 引き出し開始が60歳~75歳の間 |
| 非課税期間 | | 無期限 | 無期限 | 運用期間中非課税 |
| 税の優遇 | 拠出時 | 優遇措置なし | 優遇措置なし | 所得控除→所得税・住民税軽減 |
| | 運用益 | 非課税 | 非課税 | 非課税 |
| | 払出時 | 課税されない | 課税されない | 課税される(退職所得控除または分割受取→公的年金等控除あり) |

少額投資非課税制度「NISA」の紹介

はじめてみよう!

NISA

早わかり
ガイドブック

2024年からの
NISAについても
説明するよ!



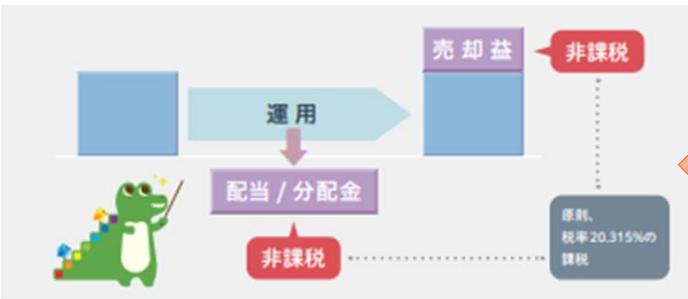
人生100年時代。
資産形成の重要性が増えています。
株式・投資信託等に
リスクはつきものですが、
ポイントを押さえることで安定的な
資産形成が期待できます。

金融庁
Financial Services Agency

Part. 5 「長期・積立・分散」のメリットを最大限活用!
NISA(少額投資非課税制度)について学ぼう!

NISAで投資すると運用益(売却益・配当/分配金)が**非課税**になります。

- ✓ 18才以上の日本居住者が対象です。
- ✓ 銀行・証券会社等で開設ができます。



NISA口座を開設してみよう!

- 1 金融機関に口座開設を申請
- 2 NISA口座開設完了
- 3 NISA口座での取引が可能に

最短で申込当日に取引を開始できます。

※1 申請書類のほか、本人確認書類とマイナンバー確認書類が必要となります。
※2 上記は例示であり、金融機関によって異なります。詳しくは、ご利用の金融機関にお問い合わせください。
※3 原則に二重口座であった場合には、NISA口座で受け取り済みの商品を別枠に出資して一重口座に移資されます。

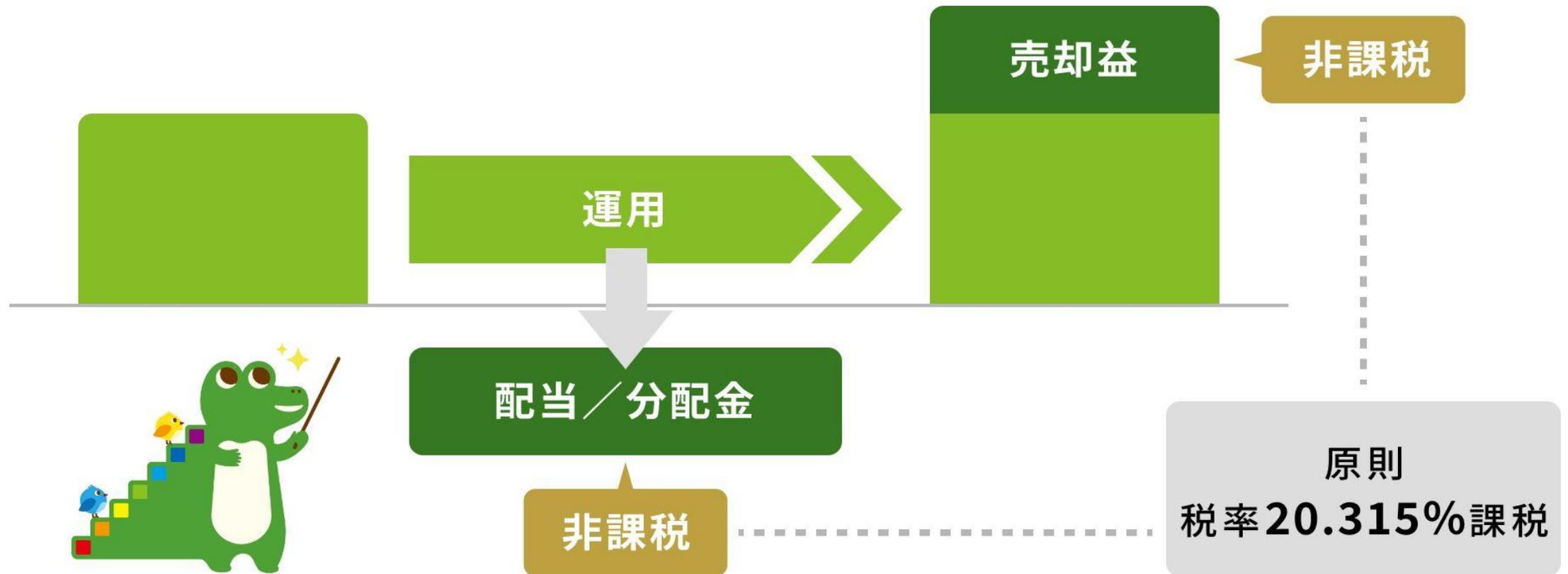
NISAを活用することで、投資で得られる利益に係る税金が非課税になります。
ただし、金融商品の購入には手数料がかかることもあるので、商品を選ぶ際には手数料を確認することも大切です!

- ライフプランに基づく資産形成が大切であり、「NISAの活用」は一つの選択肢です。
- NISAを活用して資産形成を行う場合でも、**完全保証はありません。**

非課税のメリット

少額投資非課税制度「NISA」の紹介

運用益（売却益・配当/分配金）が非課税



NISAのポイント

| | つみたて投資枠 | 併用可 | 成長投資枠 |
|------------------|---|-----|------------------|
| 非課税保有期間 | 無制限 | | 無制限 |
| 制度 (口座開設期間) | 恒久化 | | 恒久化 |
| 年間投資枠 | 120万円 | | 240万円 |
| 非課税保有限度額 (総枠) | 1,800万円 | | |
| | | | 1,200万円 (内数) |
| 投資対象商品 | 長期の積立・分散投資に適した 一定の投資信託 (金融庁の基準を満たした投資信託に限定) | | 上場株式・ 投資信託等 ※ |
| 対象年齢 | 18歳以上 | | 18歳以上 |

NISAを利用するには

NISAを利用するには、銀行や証券会社などにNISA口座を開設する必要がある

- 日本国内に住んでいる18歳以上※の方ならどなたでも開設できる

※利用する年の1月1日時点で18歳以上の成人の方が対象

- 口座は1人につき1口座のみ開設可能

※預貯金口座と違い、複数の金融機関を含め1口座のみ

- 金融機関の変更は、年単位で可能

※金融機関によって取扱商品や手数料は異なる

個人型確定拠出年金「iDeCo」の紹介

基本、20歳以上65歳未満の公的年金の加入者であれば加入できます。

自分で育てる、自分の年金

iDeCo

老後のために、いま、できる、こと。[イデコ]

iDeCoは、自分で決めた額を積み立てながら、その掛金を自分で運用していくことで将来、公的年金にプラスして給付を受けられる年金制度(個人型確定拠出年金)です。

iDeCoは3つの税制優遇 /

- 掛金が **全額所得控除**
- 運用益も **非課税で再投資**
- 受け取る時にも **大きな控除**



国民年金基金連合会

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

私たちの「老後」は20年以上!
長期化する老後を豊かに過ごすためには今から備えを始めることが大切です。



- 1 掛金を決める**
月々5,000円から始められ、1,000円単位で自由に設定できます。
- 2 運用する**
自分のニーズに合わせて運用商品(投資信託や定額積立など)を選んで運用できます。
- 3 受け取る**
原則60歳から75歳までで受け取り時期を選べます。

- 掛金が全額所得控除!**
税金が軽減されます!
- 運用益も非課税で再投資!**
運用益は全部資産
- 受け取る時も大きな控除!**
公的年金等控除、退職所得控除

【注意事項】積立金の運用は加入者ご自身の責任で行われ、受け取る額は運用成績により変動します。運用商品の中には、元本確保されない商品もありますので、商品の特徴をよく理解した上で選択してください。iDeCoは、老後の資産形成を目的とした年金制度であるからこそ、税制優遇措置が講じられています。このため、原則60歳まで積立金を引き出すことはできませんので、ご注意ください。加入期間等に応じて受給できる年額が決まります。手数料がかかります(運営管理機関や商品によって異なります)。運用資産には、別途、特別法人税が課税されますが、現在、課税が停止されています。

さらに詳しく知りたい方は、こちらでもチェックしてデコ!

iDeCo公式サイト www.ideco-koushiki.jp **イデコ公式**

制度についてのお問い合わせは **イデコダイヤル**へ **0570-086-105** 受付時間 平日 9:00~17:00 (土・日・休日、年末年始(12/29~1/3)はご利用いただけません)

※イデコダイヤルでは、ご加入のお申し込みはできません。お申し込みは、各運営管理機関へ直接お問い合わせください。
※このウェブサイトは、一般の固定電話からおかけになる場合は、全国どこからでも1分10円の通話料がかかります。また、携帯電話からおかけになる場合は、全国どこからでも20秒10円の通話料がかかります。
※03-6731-9998におかけになる場合は、通常の通話料がかかります。

本チラシは、どなたでも複製・転載していただけます。ただし、本チラシの内容(図画・文章・データ等を含む全て)の修正・加工・改変はご遠慮ください。 2024年12月現在

iDeCo(個人型確定拠出年金)

ポイント・・・公的年金にプラスして給付を受けるための私的年金制度の一つ 税制メリットも大きい



- ◎開設できる口座・・・1人1口座
- ◎20歳以上65歳未満(国民年金に加入)の人
- ◎掛金
 - 月々5,000円から(1000円単位で)
 - ※職業や属性で異なるiDeCoの拠出限度額の把握
- ◎金融機関は途中で変更も可能

iDeCo(個人型確定拠出年金)

◎3つの税制メリット

掛金が全額所得控除

運用益も非課税で再投資

受け取るときも大きな控除

退職所得控除(一時金)・公的年金等控除(年金)



◎受取開始年齢は加入期間によって異なる

◎金融機関を選ぶ際のポイント

①iDeCoの運営管理手数料

②取り扱っている商品のラインナップ・・・元本確保型・元本変動型

③サポートサービス

初心者が手を出したら99.99%失敗する投資先

1. 未公開株
2. 原野商法（土地の購入を勧める）
3. 未登録業者
4. FX
5. 暗号資産
6. 先物取引
7. 私募ファンド
8. 内容がよく理解出来ない投資
9. 低格付け債
10. 仕組債（ノックイン）（早期償還条項）

詐欺のキーワード

必ず儲かる・絶対儲かる・私でも成功した

詐欺が目的ではなくても

目先の金利につられない

リスクの大きい商品

単価の高い商品

理解しにくい仕組みの商品は避ける

組み合わせ商品は本当に得か？

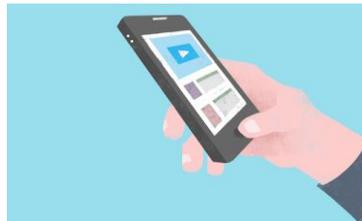


お金のまなび方

金融とお金、お金の増やし方

- 金融庁
- 金融経済教育推進機構 (J-FLEC)
- 金融広報中央委員会
- 日本証券業協会
- 東京証券取引所
- 投資信託協会
- 信用のある金融機関や新聞社

などの
ホームページ



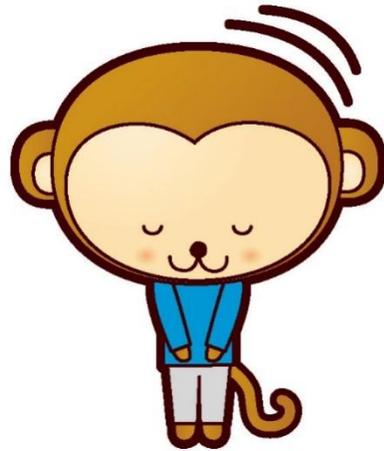
その他お役立ち

- 生命保険文化センター
- 日本損害保険協会
- 日本学生支援機構
- 消費者庁
- 国民生活センター
- 国税庁
- 日本年金機構
- 全国銀行協会
- 日本FP協会

などの
ホームページ



ご清聴ありがとうございました



制作：京都生協LPAの会